

# Racing Topics

## ★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

### ●皐月賞はドゥラメンテが勝利

4月19日(日)の3回中山8日・第11レースとしておこなわれた皐月賞(G I)ではドゥラメンテ(牡3歳/美浦・堀宣行厩舎)が勝利しました。同馬の母はエリザベス女王杯2勝のアドマイヤグルーヴ、祖母は優駿牝馬(オークス)や天皇賞(秋)を勝ったエアグルーヴ、曾祖母は優駿牝馬(オークス)勝ち馬ダイナカールで、母子4代連続でのG I級レース勝利は史上初となります。また鞍上のミルコ・デムエロ騎手(栗東・フリー)は皐月賞4勝目で、これは歴代単独トップ。堀調教師はダービー卿チャレンジT、阪神牝馬Sに続く3週連続のJRA重賞勝利で、こちらは歴代トップタイ、史上10人目(12回目)のこととなりました。

### ●中山グランドジャンプはアップトゥデイトがレコードV

4月18日(土)の3回中山7日・第11レースとしておこなわれた中山グランドジャンプ(J・G I)ではアップトゥデイト(牡5歳/栗東・佐々木晶三厩舎)が勝利、重賞初勝利をJ・G Iで飾りました。鞍上の林満明騎手(栗東・フリー)にとってもJ・G I初勝利で、佐々木調教師は障害重賞初勝利。勝ちタイム4分46秒6は2004年・ブランドイスが記録した4分47秒0を更新するコースレコードでした。

### ●英G 1に日本馬2頭が登録

イギリスのアスコット競馬場で6月16日(火)におこなわれるクイーンアンS(G 1)にはルルーシュ(牡7歳/美浦・藤沢和雄厩舎)が、翌17日(水)におこなわれるプリンスオブウェールズS(G 1)にはスピルバーグ(牡6歳/美浦・藤沢和雄厩舎)が登録しました。

### ●アドマイヤコジーンが種牡馬引退

北海道新ひだか町のレックススタッドにて繋養されていたアドマイヤコジーン(牡19歳)が種牡馬を引退しました。同馬は朝日杯3歳S(G I)や安田記念(G I)を勝つなどJRA通算22戦6勝・海外1戦0勝の成績を残して引退。種牡馬としてはスプリンターズS(G I)勝ち馬であるアストンマーチャンやスノードラゴンなどを送り出しています。今後は北海道日高町のクラウン日高牧場にて功労馬として余生を過ごすこととなります。

## ★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

### ●アンタレスS出走のサミットストーンはアクシデントで最下位

アンタレスS(G III、4月18日、阪神)に出走した昨年のNARグランプリ年度代表馬サミットストーン(船橋)は、中団追走も3コーナーで他馬に関係なく自ら躓き、大差の最下位16着で入線しましたが、幸い大事には至らなかった模様です。

### ●羽田盃(大井)はストゥディウム、各地の主要3歳重賞

羽田盃(4月22日、大井、1800<sup>米</sup>)は、後方から追いつけた2番人気のストゥディウム(牡、父ルースリンド)が、先に抜け出した単勝1.4倍で断然人気のオウマタイムをゴール寸前で半馬身捉え、平和賞、ハイセイコー記念に続く重賞勝ち。東海クイーンC(4月21日、名古屋、1600<sup>米</sup>、牝馬)は、先手を取った兵庫からの遠征馬トーコーウィーナズ(父クロフネ)が後続を6馬身引き離し、単勝1.1倍の圧倒的的支持に応じて5度目の重賞制覇を果たしています。新設された門別内回りコースで実施された北斗盃(4月22日、門別、1600<sup>米</sup>)は、逃がした単勝1.4倍で1番人気のオヤコダカ(牡、父サムライハート)が道中他馬に絡まれながら7馬身差で圧勝。東京プリンセス賞(4月23日、大井、1800<sup>米</sup>、牝馬)は、3番手から直線入口で先頭に立った7番人気のティーズアライズ(父ワイルドラッシュ)が北海道在籍時の栄冠賞以来となる重賞制覇。単勝1.7倍で1番人気のララベルは3着に敗れています。

## ★海外競馬ニュース 文・石川ワタル★

### ●世界ランク1位タイのシェアドビリーフが骨折、年内休養か

アメリカ最強馬のシェアドビリーフ(騾4歳、父キャンディライド)は4月18日、ウエストヴァージニア州のチャールズタウン競馬場で行われた総賞金150万<sup>ドル</sup>のチャールズタウンクラシック(G 2、ダート9<sup>フ</sup>)に出走し、レース半ばで競走を中止しました。診断で腰骨の骨折が判明し、年内の復帰は微妙です。レースは3番人気のモレノ(騾5歳、父ゴーストザッパー)が優勝。シェアドビリーフは3月のサンタアニタH(G 1)を圧勝し、レーティング125<sup>ポ</sup>で現在の世界ランク1位タイ。カリフォルニア以外の最初のレースで残念な結果となりました。

### ●仏G 3ノアイユ賞優勝のキャラクター、仏ダービー本命へ

4月20日のノアイユ賞(ロンシャン競馬場、芝2100<sup>米</sup>)は1番人気のキャラクター(牡3歳、父ハイシャパラル)が抜け出し、着差3馬身 $\frac{1}{2}$ の圧勝でした。勝利騎手C.スミヨン、調教師A.ドロワイエデュブレ、馬主アガ・カーン4世。キャラクターはこれで5戦3勝。5月31日の仏ダービー本命の評価を取り付けました。